

私は少し発達障害に興味があります。  
最近、ニューロダイバーシティという言葉をちよくちよく見かけるのですが、あんまり内容をつかめきれていません。  
おすすめの関連書籍とかはありますか。  
少し教えていただけると嬉しいです。😊

## ～改善案～

ゴンザレスさん、ご質問ありがとうございます。

ゴンザレスさんの質問の内容にある、①発達障害、②ニューロダイバーシティについて、お答えさせていただきます。

①発達障害についてですが、発達障害者支援法において、

「自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害であってその症状が通常低年齢において発現するものとして政令で定めるもの」

(引用：[5.発達障害について：文部科学省 \(mext.go.jp\)](https://www.mext.go.jp))

という様に定義されています。平成24年に文部科学省が実施した調査では、通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある児童生徒は6.5%と想定されており、通常の学級、特別支援学級等で様々な配慮が行われることが重要であると考えられています。

②ニューロダイバーシティについて

まず、ニューロダイバーシティという単語についてですが、「Neuro (脳・神経)」と「Diversity (多様性)」の2つの単語が組み合わされて生まれたもので、直訳すると神経多様性という意味になります。私達1人ひとりにはそれぞれに脳・神経があり、それは1人ひとり異なる。それが多様であり、その人自身を表すものになるという様な考え方です。障害をマイナスに捉えるのではなく、肯定的に捉えること、障害というものを障害として捉えることとしての分類ではなく、障害というくくり以外の分類をねらいとし、生じたものです。

簡単に言えば、ニューロダイバーシティが発達障害のある人にもみ当てはまるのではなく、全ての人がニューロダイバーシティであり、1人ひとりが神経的に多様な状態であるということです。

障害のある人たちだけがニューロダイバーシティではなく、どんな人であってもニューロダイバーシティになるという認識を持つことが重要です。

おすすめの書籍ですが、村中直人先生著の「ニューロダイバーシティの教科書」というものがあります。少し難しい内容のものですが、是非読んでみてください。大阪教育大学附属図書館でも貸し出しています。

今回の解答で何か分からないこと、もっと聞きたいことがありましたら、目安箱に投書をよろしくお願ひします。

回答日：2024/06/17/月曜日